

広島市民版

報道部 082(26)2323 FAX(26)2321
 電子メール houdou@chugoku-np.co.jp
 安佐北支局 082(26)0018 FAX(26)0088
 ニュースや話題など身近

ドイツ人捕虜 携連地 収容の地



宮崎さん(右端)から収容所跡地の説明を受ける西村さん(右から3人目)たち

大阪の研究会 歴史追ひ似島へ

大阪市大正区にあった大阪俘虜収容所の歴史を追う大阪の研究会が23日、収容所の閉鎖に伴いドイツ人捕虜が移送された広島市南区の似島を初めて訪ねた。日独交流150年のことし、収容所の歴史の掘り起こしを通じ、広島郷土史研究者との連携を深める。
 (衣川 圭)

第1次世界大戦中、たドイツ人捕虜は、ドイツ領だった中国・青島から連れてこられ、1917年に似

の案内で、収容所跡地の市似島臨海少年自然の家などを回った。藤井さんがドイツで入手した当時の収容所の写真を見ながら、日本初のバームクーヘンを作ったカール・ユームの話を交わした。

研究会座長の西村東一さん(59)は「捕虜の移送先が海や山の美しい場所と分かり感慨深い。西国の交流の歴史を伝えていきたい」と話す。9月に大阪市内である記念事業に招かれた宮崎さんは「歴史の掘り起こしで連携したい」と願っていた。

島へ移された。翌年の終戦後もしばらく似島に残り、広島市の学生チームとサッカーをするなど交流があった。

研究会のメンバー5人と、ドイツ在住の写真家藤井寛さん(63)が似島を訪問。似島の歴史を調べている宮崎佳都夫さん(63)＝南区＝

中国新聞

2011年(平成23年)4月24日(日曜日)

〒730-0811 広島市南区宮島 2-3-1

電話 082-2600111

代読料 200円